

3月市長定例記者会見報告事項概要

平成29年3月28日(火) 10時00分～

1)、新庁舎建設に関する検討会の開催について

- このたび策定した「防府市庁舎建設基本構想・基本計画」を、市長自身が市内16地域に出向き、その趣旨、内容を説明する。
- この検討会は、4月1日(土)の野島地域、野島漁村センターを皮切りに市内16地域を、約1か月間で市内全地域を回る予定。

2)、^{ワオン}「ほうふ 幸せます WAON」の発行について

- 昨年10月16日に、株式会社レノファ山口、マックスバリュ西日本株式会社と締結した、『「地方創生、まちづくりパートナーシップ包括連携」に関する協定』に基づく取り組みの一環として、防府市のご当地^{ワオン}WAON、「ほうふ 幸せます ^{ワオン}WAON」を発行する。
- ^{おもて}表には、防府天満宮と防府観光マスコットキャラクター“ぶっちー”をデザインし、名称には、防府の地域ブランドである「幸せます」を取り入れている。
- このご当地^{ワオン}WAONを利用すると、利用額の一部が本市とレノファ山口へそれぞれ寄附される仕組みとなっている。
- この「ほうふ 幸せます ^{ワオン}WAON」は、4月18日(火)から、マックスバリュ西日本株式会社が営業する「ザ・ビッグ」「マックスバリュ」全180店舗で販売が開始され、順次全国のイオン店舗でも販売される。
- 4月15日(土)には、維新百年記念公園陸上競技場でレノファ山口FCのホームゲームが開催される。その会場において先行販売される。

3)、平成29年度から実施する介護予防・日常生活支援総合事業、いわゆる「新しい総合事業」について

- 介護保険法の改正に伴い実施するもので、訪問サービス、通所サービス、及び生活支援サービスを、地域の実情に合わせ、市が独自の基準を設けて提供する。
- 要支援の認定をお持ちの方は、デイサービスの種類が増え、新たな生活支援サービスを受けることが可能になる。
- 基本チェックリストの実施により、心身が虚弱で介護サービスの提供が有効であると認定された「事業対象者」は、介護認定がなくても、要支援認定者が利用しているホームヘルパーサービス、デイサービスや生活支援サービスを、利用できるようになる。
- 高齢者を支え合う地域づくりの推進を目的に、要支援者等の高齢者を支援する団体等に、補助金を交付する制度もこの事業の中に設ける。
- 防府市の新しい総合事業の特徴は、「半日型デイサービス」の設定、「サロンや通所サービスまでの移送を担う団体への補助制度」の設定、「幸せます健康くらぶ」の実施、地域の既存施設を介護予防の拠点「幸せますデイステーション」として運用する取り組みの開始などで、いずれも防府市の実情に合わせたサービスを設定した。
- この新しい総合事業により、要支援者、またはそれに近い状態の高齢者が要介護状態にならないよう、必要なサービスを充実させるとともに、高齢者を支え合う地域づくりを推進する。

4)、4月の観光に関することについて

- 4月29日（土・祝日）、30日（日）、「春の幸せますフェスタ2017」が、防府天満宮から駅通り商店街一体で開催され、様々な団体によるパレードや、「おんなみこし」などがお行われる。
- 「幸せますウィーク」として、本年も4月21日（金）から5月7日（日）までの間、花廻廊や国分寺のライトアップなど、様々なイベントが用意されている。

○4月29日（土・祝日）の午前10時から、「まちの駅うめてらす7周年誕生祭」が開催される。

- ・平成22年4月29日にオープンした「まちの駅うめてらす」は、7周年を迎える。この間、多くの来館者をお迎えし、本市の観光集客の一大拠点施設として認知されたことは大変うれしいことである。
- ・当日は、和太鼓の競演、コンサート、もちまきをはじめ、うめてらす7年間の出来事や、着物暦まち歩きの写真展示など、数々の趣向を凝らしたイベントが開催される。

5)、その他

○先月の定例記者会見以後、今日までに、公用車による事故が3件発生。いずれの事故も、市営住宅の駐車場や市内の公園や店舗の駐車場において、車両を発進させる際、不注意により障害物に接触し、車両を傷付けた事故であった。

○引き続き、職員への交通安全啓発、安全運転指導を行っていく。